

## 平成 27 年度 第 1 回学校問題解決サポートセンター講演会 実施報告

- 1 日時 平成 27 年 5 月 22 日（金）午後 2 時 00 分から午後 4 時 30 分まで
- 2 場所 東京都子供家庭総合センター 6 階大研修室
- 3 参加者数 46 名（地域別内訳：区部 29、市部 15、都立学校 2 職層別内訳：管理職 26（統括）指導主事 11、主幹教諭 2、主任教諭・教諭 5、その他 2）

### 4 内容

#### (1) 挨拶

所 長

#### (2) 平成 27 年度 学校問題解決サポート事業について

統括指導主事

#### (3) 「子供の特性の理解をめぐる学校問題をどう解決するか」

～保護者が援助チームの一員になれる取組～

講師 東京成徳大学大学院 教授 田村 節子 氏

### 5 講演概要

保護者と学校との間で、子供の特性や問題行動の捉え方が違うことから、対立した学校問題を解決するための方策について御講演いただきました。

保護者の怒りは困っている状況と受け止め、怒りの背景には、学校に対する援助ニーズも含まれていることが分かりました。



### 6 参加者のアンケートから

- ・ 障害特性の理解によって、子供の生きにくさを軽減することができると感じた。
- ・ 学校に要望を訴える保護者の心情や対応について、情緒的なつながりをもつことが大切であることを学んだ。
- ・ 保護者対応の際には、学校問題解決サポートセンターの資料を活用し、問題の早期解決につなげたい。
- ・ 保護者と面談をするためのポイントは、今後の参考にしたい。
- ・ 子供の対応に困っている保護者が、「気持ちを受け入れてもえた」と思える対応をしていきたい。